

メパニピリムくん煙剤 フルピカくん煙剤	取扱メーカー： クミカ、日本曹達 原体メーカー： クミカ
成分： メパニピリム〔アニリノピリミジン系〕……………15.0%	性状： 類白色発煙性中空円板状， 外径65mm，内径20mm，高さ16mm， 1個50g 毒性： 劇物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 施設栽培の主要病害である灰色かび病，うどんこ病に対してハウス内の湿度を高めず，省力的に優れた防除効果を発揮する。
- アニリノピリミジン系で独自の作用性を有し他剤耐性灰色かび病，うどんこ病に安定した効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 発生前や発生初期から予防的に早めにくん煙することで優れた防除効果を発揮する。
- くん煙する場合は，添付の吊具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙する。吊具及び電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さでつり下げるか又は不燃性の台などの上ののせて使用する。なお，植物体，可燃物から離れた中央の安全な場所に設定する。特にビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で使用する。棚仕立てのぶどうに使用する場合は，吊具及び電気式点火・くん煙装置を不燃性の低い台などの上ののせ，植物体から離れたなるべく低い位置で使用する。
- 点火は以下のとおり行う。

○点火紙を用いる場合

同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置しその上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。点火紙を薬剤の上ののせて点火すると炎が出るのでさける。点火後発煙を確認したら室外に出てそのまま放置する。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消す。

○電気式点火・くん煙装置を使用する場合

装置は水などに濡れないように設置し，電源がオフになっていることを確認の上，薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電する。点火後発煙したら電源のオフを確認し，くん煙室の外に出てそのまま放置する。発煙直後に万一炎が出た場合においても，再びくん煙室に入らずに，そのまま放置する。

○点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らない。

- 温室・ガラス室・ビニールハウスなど防除しようとする室の戸や窓を閉め，室内の可燃物を取り除く。室の容積によって使用量を決め，必要に応じてくん煙箇所を数カ所に分けて配置し，煙がまんべんなく行き渡るようにする。

●高温時には薬害を生じるおそれがあるので，日中のくん煙はさけ，夕方からくん煙し，翌朝開放する。

●室外で強い風が吹いている時は，煙が片寄ってしまい，均一な効果がでにくいので，使用しない。

【薬効・薬害等の注意】……………

- きゅうりのうどんこ病に使用する場合，多発生時には効果が劣ることがあるので注意する。

【安全対策上の注意】……………



【適用と使用法】

作物名	適用場所	適用病害名	使用量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	メバコリムを含む 農薬の総使用回数
きゅうり	温室，ビニールハウス 等密閉でき る場所	灰色かび病	くん煙室容積 500m ³ (床面積 250m ² ×高さ2m) 当り 50 g (1 錠)	前日まで	4 回以内	くん煙 (通常 10 ～ 15 時間)	4 回以内
いちご		うどんこ病			3 回以内		3 回以内
ぶどう				30 日前まで			
みかん		灰色かび病		開花期～幼 果期 (但し，収穫 90 日前まで)	2 回以内		2 回以内